洞察とレポート累積的影響の評価と管理: 水力発電開発…

報告

累積的影響評価と管理: トリシュリ川流域における水力発電開発

ネパール

2020年5月27日

完全なレポートをダウンロード

この累積的影響評価と管理:トリシュリ川の水力発電開発

IFC は、ネパールの中央開発地域にまたがる 32,000 平方キロメートルの地域であるトリシュリ川流域 (TRB) における複数 のプロジェクトにわたる潜在的な累積的影響の流域全体にわたる理解を検討することにより、個々のプロジェクトレベルの影響評価を超えて、水力発電開発の環境および社会への影響に関する理解を深めるために、水力発電開発に関する環境および社会への影響に関する CIA 調査を実施しました。この最終 CIA レポートは、2017 年 12 月から 2019 年 1 月にかけて行われた利害関係者との協議、定性的および定量的データ分析、および戦略ワークショップの成果です。

コンテンツ

•エ <u>グゼクティブサマリー</u>
•第 <u>1章 はじめに</u>
•第2章: 行政と規制の枠組み
•第3章: プロジェクトと研究の背景
•第4章: 価値ある環境要素
•第5章: 環境の重要要素: 水生生息地
•第6章: 価値ある環境要素: 陸生生息地
•第7章: 環境要素の重要度: 社会
•第8章: 環境の重要要素: 水資源
•第9章: 緩和、監視、持続可能な開発への道筋への移行
•第10章: 実施の取り決めと結論
•参考文献
•付録

関連リソース

トリシュリ評価ツールフィールドマニュアル:淡水水生生物の標準化された方法論 ヒマラヤの水力発電プロジェクトにおける生物多様性のサンプリングと長期モニタリング 地域



Cumulative Impact Assessment and Management:

HYDROPOWER DEVELOPMENT IN THE TRISHULI RIVER BASIN, NEPAL

IN PARTNERSHIP WITH









IBRD IDA IFC MIGA ICSID	
IECについて私たちの影響採用情報English	